

てんかん手術前後の心理評価に関する後ろ向き前向き観察研究について

信州大学医学部附属病院精神科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究は、診療時に得られた既存の診療情報を用いた後ろ向き前向き観察研究であり、対象となる方へ個別に同意をいただく代わりに、研究の情報を公開し、研究への参加を望まれない方からの申し出を受け付ける「オプトアウト（情報公開による拒否機会の保証）」の手続きをとっています。

【研究課題名】

てんかん手術前後の心理評価に関する後ろ向き前向き観察研究

【研究責任者】

信州大学医学部附属病院 精神科 両川 晃子

【研究の概要】

2021年10月1日から2029年9月30日までの間に当院でてんかん手術を受け、術前および術後に心理検査を受けられた方の診療情報をもとに、術前後の認知機能や行動指標の変化を後方視的前方視的に解析します。これにより、記憶・言語・遂行機能、発達特性、行動面などの変化傾向や、背景要因（年齢、病型、病巣側性等）による違いを明らかにし、今後の術後支援や治療選択に役立つ知見の蓄積を目指します。

【研究対象者】

上記期間中（2021年10月1日から2029年9月30日まで）に当院でてんかん手術を受け、術前・術後の両方、またはいずれかに心理検査（WAIS-IV、WISC-V、AQ、CAARS、MMPI など）を受けている方

【研究期間】

2021年10月1日から2029年9月30日まで

【利用する情報】

診療録（電子カルテ、心理検査所見など）に記録された以下の情報を使用します：

- 基本情報（性別、年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、使用薬剤、術式や治療に関する情報）
- 手術に関する情報（手術日、術式、病巣部位など）
- 心理検査結果（WAIS-IV、WISC-V、WMS-R、AQ、CAARS、MMPI など）

※個人を特定できる情報は研究データから削除されます。

【個人情報の取扱い】

取得した情報はすべて匿名化した上で解析を行い、外部に個人が特定されることは一切ありません。研究成果は学会や論文等で公表されますが、個人情報が含まれることはありません。

【本研究への協力を希望されない方へ】

本研究の対象となる方で、診療情報の研究利用を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合は、対象とせず除外いたします。

【連絡先】

信州大学医学部附属病院 精神科

担当：両川 晃子（研究責任者）

電話：0263-37-2638（代表）

受付時間：平日火木 9:30～17:00（祝日除く）

※「てんかん手術の心理評価研究の件」とお伝えください。